

温泉掘削工事起工式 ～関係者が工事の安全を祈願～



↑掘削のために組まれた高さ約25mのやぐら

7月6日、指江の町文化ホール下の広場で、温泉掘削工事の起工式が行われました。

この工事は総事業費1億2,744万円で、温泉センター構の湯の泉量が低下してきていることから、新たな温泉源開発を目的として温泉掘削工事を行うものです。

式には、川添町長はじめ工事関係者など約20人が参列し、町長が鎌入れを行い工事の安全を祈願しました。

この温泉掘削工事の工期は平成29年3月までを予定しており、深度約1,500mまで掘削し、新たな温泉源の開発を目指しています。

特設公衆電話の設置・利用に関する協定締結式 ～避難所の優先的通信回線を確保～



↑締結後、川添町長と握手を交わす末吉支店長

7月11日、長島町と西日本電信電話株式会社鹿児島支店の「特設公衆電話の設置・利用に関する協定」締結式が、役場で行われました。

この協定は、西日本電信電話株式会社鹿児島支店と相互連携、協力のもと、長島町内の避難所などの公共施設27カ所に特設公衆電話を設置し、大規模災害が発生した場合、避難所における被災者などの通信を確保することを目的としています。

調印後、末吉政宏支店長は「この特設公衆電話を整備したことにより、安心・安全な地域づくりの一助となれば」とあいさつしました。

長島町ぶり奨学金基金へ寄付 ～長島町のさらなる発展を願って～



↑川添町長へ寄付を手渡す濱脇代表取締役社長

7月28日、株式会社鶴丸薬品の濱脇義臣代表取締役社長が町長室を訪れ、「長島町ぶり奨学金基金」への寄付金を川添町長へ手渡しました。

濱脇社長は、東町漁業協同組合が同基金へブリ出荷1本につき1円の寄付をした話を聞き、同社としても町のために何かできないかと考え、東町漁協協同組合へ納品しているブリを入れる発泡スチロールケース1個につき1円を寄付することを決めました。

今回は、平成27年度の納品実績が52万5,903個であったことから53万円を寄付。「長島町がこれからも発展するように願いを込め、毎年基金への寄付をしていきたい」と話しました。